

<2025-26 年度 RI 会長>



フランチェスコ・アレツツォ氏

(イタリア、ラゲーザ・ロータリークラブ所属)

理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2023 年 8 月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2 月の 2025 年国際協議会で発表された 2025-26 年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと（人種、宗教、職業を超えて）をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

アレツツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラゲーサ県の National Association of Italian Dentists の副会長であり、National Trust for Italy の創設者であり、同団体で 7 年間ラゲーサ県を代表しました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。

30 年以上のロータリー会員であるアレツツォ氏は、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任したほか、ロータリー財団のベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は、観光業界の起業家で、お二人には 2 人のお子さんがいます。